



アメリカでの目標を語る訪問団員

## 23日からコンコードへ

# 積極的に交流したい

【七飯】町の姉妹都市アメリカ・マサチューセッツ州コンコード町に向かう姉妹都市交流訪問団の壮行式が16日、町文化センターで行われた。七飯からは過去最大となる73人が23日から10〜12日間の日程で渡米。参加する中高生らは「積極的にコミュニケーションを図りたい」などと抱負を語り、希望を目を輝かせていた。

(今井正一)

## 七飯訪問団 渡米前に壮行式

中学生5人を含む海外交流派遣研修訪問団(団長・宮田東総務課長)14人と、七飯高校の吹奏楽局、英語部の生徒ら59人は、姉妹校交流訪問団(団長・小越康雄校長)として渡米。コンコード町ではホームステイをしながら滞在するほか、研修訪問団はニュー

ヨークも訪れる。吹奏楽局は安一町長は「皆さんの気持ち現地時間の25日にカーライルはもうアメリカに向いているのか、自信に満ちあふれている。しっかりと楽しんでくる。ところが、七飯とコンコードの二層の親善につながる」と確信を学んだり、現地で披露する和太鼓や日舞など、事前研修を重ねてきた。壮行式で中宮

また、小越校長は「昨年、カーライル高校と念願の姉妹

校提携を結び、未来に続く友情と信頼を築こうと確認した。多くの地域の支援にお礼を申し上げたい」と述べた。このほか、各中学校長らか